

デジタル教科書指導案／地理的分野

1. 題材 p.210-211 阪神工業地帯と環境問題への取り組み
2. 目標
 - (1) 阪神工業地帯の臨海部の工業地帯の変容を、環境対策の視点などから理解できる。
 - (2) 中小企業の高い技術を受け継いでいくための取り組みや、地域住民と共存していくための取り組みについて理解できる。
3. 章・節の評価規準例につながる指導のポイント

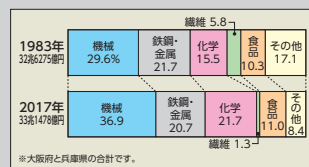
評価との関連	指導のポイント
知識・技能	・ 阪神工業地帯の特色について、臨海部の変化を中心に理解している。 ・ 阪神工業地帯では、環境問題に対してどのような取り組みを行ってきたのか説明している。

4. 指導過程

	学習内容・学習活動	資料・発問	留意点(○)・指導のポイント(◆)				
導入	1. 「大阪湾岸の工業地帯の移り変わり」の写真を題材にし、本時の課題をつかむ。	 p.210 1 1960年代以降、阪神工業地帯がどのように変化してきたか、写真から考えよう。 1960年代にはどのような公害が発生していたと考えられるだろうか。	○ 「大阪湾岸の工業地帯の移り変わり」の写真を題材にし、1960年代から現在までの変化に気付かせながら、本時への導入を図る。				
	2. 1960年代の阪神工業地帯では、どのような問題が起こっていたか予想し、学習課題への見通しを持つ。		○ 1960年代の写真から、どのようなことが問題となっていたのか予想させる。				
			○ 「学習前の予想」へ記入させ、本時の学習展開の見通しを持たせる。				
	学習課題：阪神工業地帯では、工業の発展と共に生じた環境問題に対して、どのように取り組んできたのだろうか。						
展開	3. 1960年代の大阪湾の臨海部の主な工業と課題を読み取る。	 p.210 1  p.211 4 <table><thead><tr><th>1964年頃の様子</th><th>2019年頃の様子</th></tr></thead><tbody><tr><td>  ① 主な工業 (例) 石油工業 化学工業 製鉄所 など ② 課題 (例) 地下水のくみ上げすぎによる地盤沈下や工場の排煙による大気汚染などの問題が起こっていた。 </td><td>  ③ 特色 (例) 太陽光発電のパネルや蓄電池などの新しい分野の工場のほかに、大型の物流施設やテーマパークなどが集まっている。 ④ 環境に配慮した取り組み (例) 屋根に大規模な太陽光発電設備を設置したり、工業用水のリサイクルを進めたりしている。 </td></tr></tbody></table> 1960年代の阪神工業地帯の特色をまとめてみよう。	1964年頃の様子	2019年頃の様子	 ① 主な工業 (例) 石油工業 化学工業 製鉄所 など ② 課題 (例) 地下水のくみ上げすぎによる地盤沈下や工場の排煙による大気汚染などの問題が起こっていた。	 ③ 特色 (例) 太陽光発電のパネルや蓄電池などの新しい分野の工場のほかに、大型の物流施設やテーマパークなどが集まっている。 ④ 環境に配慮した取り組み (例) 屋根に大規模な太陽光発電設備を設置したり、工業用水のリサイクルを進めたりしている。	○ 学習プリントを活用し、1960年代の大阪湾周辺の工業の特色を挙げさせる。
	1964年頃の様子	2019年頃の様子					
	 ① 主な工業 (例) 石油工業 化学工業 製鉄所 など ② 課題 (例) 地下水のくみ上げすぎによる地盤沈下や工場の排煙による大気汚染などの問題が起こっていた。	 ③ 特色 (例) 太陽光発電のパネルや蓄電池などの新しい分野の工場のほかに、大型の物流施設やテーマパークなどが集まっている。 ④ 環境に配慮した取り組み (例) 屋根に大規模な太陽光発電設備を設置したり、工業用水のリサイクルを進めたりしている。					
		◆ 臨海部の埋め立て地で石油化学工業や製鉄などの重化学工業が盛んになったことを理解させる。					
		○ 工業の発展に伴って1960年代の大阪で起こっていた課題についてまとめさせる。					
		◆ 地下水のくみ上げすぎによる地盤沈下や工場の排煙による大気汚染が発生していたことに気付かせる。					

4. 1980年代以降の臨海部の変化について考える。

(1) 臨海部の変化



p.210 2

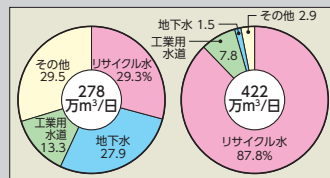


p.210 1

p.210 1

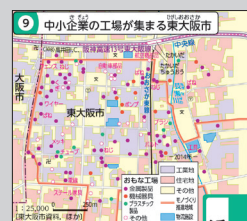
現在の臨海部の特色を挙げてみよう。

(2) 環境対策

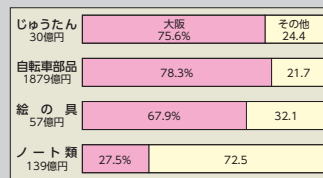


p.210 3

近年の阪神工業地帯では、環境保全のためにどのような取り組みが行われているのだろうか。



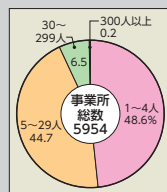
地図帳 p.106 ⑨



p.211 5

東大阪市では、どのような工業が発達しているのだろうか。

(2) 東大阪市の工業の課題



p.211 7



p.211 6

東大阪市の中小企業の特徴と地域が抱える課題をまとめてみよう。

課題に対しては、どのような対策を行っているのだろうか。

6. 本時のまとめをする。

阪神工業地帯では、環境問題に対してどのような取り組みを行ってきたのか、説明しよう。

7. 学習課題への振り返りの活動を行う。

「学習後の振り返り」の欄に記入してみよう。

○ 1980年代以降の工業の変化を理解させ、現在の臨海部の特色をまとめさせる。

◆ 化学や鉄鋼が1980年代以降伸び悩み、2000年代には薄型テレビの一大生産拠点となっていたが、現在は太陽光発電のパネルや蓄電池の工場や大型の物流施設などが集まる地域になっていることを理解させる。

○ 学習プリントを活用し、阪神工業地帯での環境保全の取り組みをまとめさせる。

◆ 工業用水のリサイクルや太陽光発電設備の設置などが進められていることに気付かせる。

○ 東大阪市の工業の特色を読み取らせる。

◆ 東大阪市内には、金属製品やプラスチック製品の工場が多いことを読み取らせ、大阪府で生産が盛んな工業製品との関係に気付かせる。

○ 資料から、東大阪市では工場と住宅が混在していることをつかませる。

○ 東大阪市の製造業の課題をつかませる。

◆ 東大阪市の製造業のほとんどが中小企業であることに気付かせる。

◆ 中小企業の中には、高い技術を持っている企業も多いことを理解させる。

◆ 阪神工業地帯では、環境問題に対して工業用水のリサイクルや太陽光発電などの取り組みを行っていることを説明できたか確認する。

○ 「学習後の振り返り」へ記入させ、「学習前の予想」と比較させる。